



2022年8月10日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 N S D  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 今 城 義 和  
(コード番号 9759 東証プライム)  
問 合 せ 先 執 行 役 員  
コーポレートセクレタリー部長 八木 清公  
(TEL 03-3257-1250)

### 株式会社プロシップとの資本業務提携の解消に関するお知らせ

当社は、本日、会社法第370条及び当社定款第23条第2項に基づく取締役会決議に代わる書面の同意により、2017年10月30日付締結の株式会社プロシップ（以下「プロシップ」と言います。）との資本業務提携契約（以下「本提携」と言います。）を解消するとともに、2022年8月12日付でプロシップが実施する自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3、以下「本自己株式取得」）に応募することについて決定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

##### 1. 本提携解消の理由

当社とプロシップは、それぞれの顧客基盤やこれまで培った技術力・開発力など経営のリソースを融合し、既存事業拡大における協業、新しい製品・サービスの共同研究開発、海外市場の開拓などを通じ、両社の企業価値の更なる向上に取り組んで参りました。

今般、将来の方向性・方針について両社で協議した結果、本提携による一定の成果を以って、今後は両社が独自の成長戦略で進んでいくことが望ましいと判断し、本提携の解消に合意しました。

##### 2. 本提携解消の内容及び特別利益の計上

2022年8月10日付で本提携を解消し、本自己株式取得を通じて当社が所有する全プロシップ普通株式3,160千株を売却する予定です。これに伴い、2023年3月期第2四半期（連結）において、売却益約16億円を特別利益に計上する見込みです。

なお、本自己株式取得において、按分比例により決済が行われる場合には、応募した全株式を売却できない可能性があります。

3. 本提携解消の相手先であり、本自己株式取得を実施するプロシップの概要  
(2022年3月31日現在)

(1) 名称	株式会社プロシップ		
(2) 所在地	東京都千代田区飯田橋三丁目8番5号		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 山口 法弘		
(4) 事業内容	ソフトウェアパッケージ開発・販売		
(5) 資本金	648,953 千円		
(6) 設立年月日	1969年4月9日		
(7) 大株主及び持株比率	株式会社NSD	20.39%	
	鈴木 勝喜	16.33%	
	QUINTET PRIVATE BANK (EUROPE) S.A. 107704 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	6.15%	
	STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505224 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	5.64%	
	日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	3.92%	
	BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO) (常任代理人 株式会社三菱UFJ銀行)	3.35%	
	長谷部 政利	2.65%	
	株式会社光通信	2.57%	
	FCP SEXTANT GRAND LARGE (香港上海銀行東京支店)	2.09%	
	川久保 真由美	1.43%	
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	当社は現在、プロシップ株式 3,160 千株を所有しておりますが、今回の本提携解消後、資本関係はなくなる予定です。	
	人的関係	該当事項はありません。	
	取引関係	当社は当該会社から開発業務を受託しております。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	
(9) 当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態			
決算期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
連結純資産	9,346 百万円	10,048 百万円	11,336 百万円
連結総資産	11,067 百万円	11,904 百万円	13,532 百万円
1株当たり連結純資産	604.94 円	642.53 円	719.53 円
連結売上高	5,052 百万円	5,351 百万円	6,689 百万円
連結営業利益	1,470 百万円	1,719 百万円	2,205 百万円
連結経常利益	1,535 百万円	1,758 百万円	2,271 百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	1,036 百万円	1,192 百万円	1,591 百万円
1株当たり連結当期純利益	68.31 円	77.98 円	103.20 円
1株当たり配当金	45.00 円	35.00 円	50.00 円

#### 4. 業績への影響

プロシップの当社連結業績に与える影響は、持分法による投資損益（営業外損益）が中心であることから、本提携解消による当社の連結売上高及び連結営業利益に与える影響は軽微です。

また、上記「2.本提携解消の内容及び特別利益の計上」に記載のとおり、プロシップ株式の売却により、2023年3月期第2四半期（連結）において、売却益約16億円を特別利益に計上する見込みです。

以 上